



片柳中学校だより

片 柳

さいたま市立片柳中学校

第1号 平成29年4月10日発行

さいたま市見沼区大字御蔵551

TEL 048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

## Challenge -夢の実現に向けて-

校長 島村 暁

新年度のスタートにあたり、片柳中学校のよき伝統を引継ぐとともに、時代や社会の変化に応じながらさらに素晴らしい学校へと発展させていかなければならないと考えております。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校の教育活動につきましてご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本校では、新入生93名を迎え、生徒296名、職員36名で平成29年度をスタートすることができました。新年度の初めにあたり、「片中生に期待すること」として、本日の始業式と入学式のなかで次のような内容について生徒に話をしました。

初めに、今年度は、**Challenge** という言葉をキーワードに、「さらに生徒に力を さらに生徒の力を」と「さらに」という言葉を加えたことについて3つのことを話しました。

一つ目は、「生徒が学校の顔」として、昨年度と同様に、片中生に補欠はありません。全員がレギュラーです。生徒一人ひとりが「片中生」という自覚と責任をもってください。もし、保護者の方や地域の方から「片柳中はどうですか？」と尋ねられたら、「生徒を見ていただければわかります」と今年度も答えます。昨年度は、胸を張ってこの言葉が言えました。今年度も同じことばで答えられるように、一人ひとりが本校の生徒であるという自覚と誇りをもって生活して行ってほしいと思います。2・3年生には、昨年度は、胸を張ってこの言葉を言うことができました。新しい1年生を迎え、先輩として今年度も胸を張ってこの言葉を言えるようにしてほしいと思います。

二つ目は、「生徒に力を」として、本校の教育目標は「夢をはぐくむ」です。でも、この言葉を具体的に考えたとき、「実現する確かな力を」を身に付けることです。そして、確かな力を具体的にいうと2つのことがあると思います。そのひとつは、“学力”です。中学校を卒業して自分の夢に向かって新しい扉を拓くためには、“学力”というものがなってきます。そこで、今年度は、**1年生では理科、2年生で数学、3年生で国語**の授業時間を増やし、じっくりと学ぶことができるようにします。授業を難しくするのではなく、学んだことを繰り返し使うことができる授業をします。このことが大きい**Challenge**です。また、学力だけでなく、集団の中で人とのかかわり方、あいさつや言葉遣いといった社会へ出たときに必要とされるものであると思います。それらを中学校生活の様々な場面で学び、未来を切り開くことができる力を身につけてほしいと願っています。1年生には、3年後の4月の自分の姿を想像してみてください。どのような姿が見えますか。中学校に入学した日、3年先の姿がまだ見えない人もたくさんいると思います。見えないからこそ、中学校の3年間という時間のなかで自分の夢をはぐくんでいくのです。このはぐくむということは、未来の自分の姿を探し、それ実現するための力をしっかりと身に付けるということです。

三つめは、「生徒の力で」として、生徒の力でさらによい学校をつくってほしい。学校は集団のなかで学ぶ場です。ですから、自分が所属する集団を好きになってほしいという思いは今年度も同じです。そこで、昨年度のクラスでよかったことは続けて、上手くいかなかったことは上手くいくよう新しい方法で今日から始まるクラスづくりに協力してほしいと思います。1年かけてつくったものと今日生まれたばかりのものを比較することは不公平です。新しいクラスや自分の所属している集団に

一層誇りと愛着を感じ、充実した1年間となるよう頑張ってもらいたいと思います。そして、2・3年生には、「昨年度よりもよかった」と思えるようにしてください。

さらに、クラスだけでなく、学年・学校という広い視野をもって、この学校をさらによくしていただきたいと思います。修了式でも話しましたが、昨年度も新しいことに挑戦しました。君達には力があり、発揮する機会をつくれば、今の本校の生徒ならできると思います。だから、新しいことに挑戦するという意味からも **Challenge** という言葉をキーワードにしました。1年生には、ここでいう“はぐくむ”ということは、未来の自分の姿を探し、それ実現するための力をしっかりと身に付けるということです。夢を実現する力には学力は不可欠です。でも、それと同じように将来において夢を実現するときや社会に出たときに必要とされる力、例えば、あいさつや言葉遣いといったものです。さらに、相手を理解したり、自分を理解してもらったりする経験を通して人との関わり方を身に付けていかなければなりません。中学校はそのようなことを学ぶ場でもあるのです。

生徒には、以上の内容を本日伝えました。新しい学年に進み、今ある自分を新しい1年のスタートラインとして、これからの一年間、自分が決めたゴールに向けて全力でいろいろなものに **Challenge** してくれると思います。保護者の皆様、地域の皆様には、本校生徒を温かく、時には厳しく見守ってくださるようお願い申し上げます、年度当初のごあいさつとさせていただきます。今年度もよろしく願いいたします。

\*授業増加に伴う新しい授業の進め方などについては、教育課程説明会で説明します。